

# 中学1年 社会科 歴史

組 番 ( 月 日 )

I:人類の出現・進化/旧石器時代/新石器時代

名前

## 基本問題

- ① 今から約 700 万年から 600 万年前のアフリカに現れた最古の人類は何とよばれるか。
- ② 今から約 240 万年前に現れた、火や言葉を使うようになった人類は何とよばれるか。また、その人類が石を打ち砕いてつくった道具は何とよばれるか。
- ③ 人類が②の道具を使い、狩りや採集をしていた時代を何というか。
- ④ 1946 年（昭和 21 年）に、群馬県のある遺跡で②の道具が発見された。そのころの日本列島にも人類が生活していたことを初めて立証したこの遺跡を何というか。
- ⑤ 約 20 万年前に誕生し、現代の人類の直接の祖先にあたる人類は何とよばれるか。
- ⑥ 長野県の野尻湖では、数万年前の地層から大型動物の化石などが見つかった。中でも、野尻湖で多くの化石が発見された、当時の人びとの狩猟の対象になっていたとされる大型のゾウは何とよばれるか。
- ⑦ 人類が農耕や牧畜を始めた時代に、石を磨いて作った道具がつくられた。この道具は何とよばれるか。
- ⑧ ⑦の道具とともに、食物を煮るために粘土を焼いて作った道具が使われた。この道具は何とよばれるか。
- ⑨ 約 1 万年前から始まる、⑦や⑧の道具を使うようになった時代は何とよばれるか。

①	猿人	②	原人	打製石器	③	旧石器時代	
④	岩宿遺跡	⑤	新人 ホモ・サピエンス	⑥	ナウマンゾウ	⑦	磨製石器
⑧	土器	⑨	新石器時代				

## 発展問題

- ① 人類が猿人、原人、新人と進化するにつれて、人類の脳にはどのような変化がありましたか。簡潔に書きなさい。
- ② 次のア、イ、ウの内容は、猿人、原人、新人のどれにあたりますか。  
ア：小形で動きの素早い動物をとらえるため、弓矢を使用した。  
イ：手を使って、石などの道具を使うようになった。      ウ：火や言葉を使うようになった。

①	(例) 脳の容積が大きくなった。					
②	ア	新人	イ	猿人	ウ	原人